

## 取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組34	みなとみらい2050プロジェクト
②対応する目標・課題	官民が連携した「国際都市横浜の玄関口としてふさわしいまちづくり」による、国内外の多くの人や企業から選ばれる都心部の形成	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:みなとみらい21地区のまちづくりの推進	■目標値:ー
④取組内容 みなとみらい21地区の事業着手から約30年が経過し、この間の社会情勢の変化をふまえ、エネルギー対策やBCP(事業継続計画)など、新しい要素を取り入れたまちづくりを進めていく。2050年に世界を魅了する、最もスマートな「環境未来都市」を創り出し、都市間競争において「選ばれる都市」を目指す。環境未来都市・横浜にふさわしいエネルギー、グリーン、アクティビティ、エコ・モビリティなどの様々な取組について、みなとみらい21地区を中心に分野横断的に推進し、環境ショーケースとして国内外に発信していく。		
⑤エリア みなとみらい21地区		
⑥主体 横浜市、民間開発事業者等		
⑦活用した国等の制度 なし		
⑧地域の関与 民間主体での事業実施を目指す。 外部有識者による審議会による検討を行う。		
⑨スケジュール		
23年度	-	
24年度	-	
25年度	外部有識者による審議会の開催(4回)	
26年度	審議会からの答申を受けた実施計画(アクションプラン)の策定および段階的实施	
27年度	実施計画(アクションプラン)を受けた事業検討および段階的实施	
28年度	実施計画(アクションプラン)を受けた事業検討および段階的实施	
29年度以降	実施計画(アクションプラン)を受けた事業検討および段階的实施	
⑩他の取組との連携 取組名:地域エネルギー・マネジメントシステムの構築・普及/次世代自動車の普及・利活用 連携内容:横浜スマートシティプロジェクト等、みなとみらい21地区での実証実験等の成果や電気自動車への充電インフラの整備などを活かしたスマートな取組を展開していく。 取組名:低炭素化による「選ばれる港づくり」 連携内容:「選ばれる港づくり」の推進のひとつとして、みなとみらい21地区でのLED照明導入など低炭素化に取り組む。 取組名:公民連携による新興国の課題解決支援 連携内容:アジアスマートシティ会議などで、「環境未来都市・横浜」の取組をPRする。 取組名:市民に身近な地域におけるきめ細やかな交通機能の強化～超小型モビリティの有用性の検証と普及促進～ 連携内容:超小型モビリティの有用性の検証や普及促進を図ることにより、エネルギーや低炭素交通の取組などを連携して行う。 取組名:質の高い文化芸術による横浜ブランドの発揮 連携内容:都心臨海部のにぎわい創出と新たな魅力発信を行い、街や経済の活性化を図り、都市間競争において「選ばれる都市」を目指す。 取組名:都心臨海部を舞台とした、創造的活動の積極的誘導による国際的な観光交流拠点の形成 連携内容:アートと省エネ技術(LED)によるライトアッププログラムの実施との連携による相乗効果で、実施エリアの魅力アップを行う。 取組名:世界中の人々が交流する国際観光・MICE都市の実現 連携内容:国際コンベンションの開催実績をいかし、国際会議等の機会を通じて、「環境未来都市・横浜」の取組を国内だけでなく海外へもPRしていく。 取組名:コミュニティサイクルを活用したまちのにぎわいづくり 連携内容:多様な低炭素交通の手段の1つとして連携を行う。 取組名:高付加価値型グローバル企業の積極的誘致に向けた拠点整備 連携内容:特定都市再生緊急整備地域における取組との相乗効果を図る。 取組名:脱温暖化～成長分野を捉えた市内中小企業のイノベーション促進 連携内容:成長分野を捉えた市内中小企業のイノベーション促進と連携することにより、「選ばれる都市」を目指す。		
⑪自立・自律の方針・目標 外部有識者による審議会での検討を行う。 地権者の間で街づくりのルールを自主的に定めた「みなとみらい21街づくり基本協定」があり、それに基づいた調和のとれた街づくりを進めている。		